



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第439号 2014年10月26日発行

「人その友のために己の命を棄つる、これより大いなる愛はなし。」この聖書の言葉に初めて出会ったのは中学1年生の時、シヨックでした。当時はまだ文語訳でした。それ以来60年以上も、命を捨てるほどに人を愛したこともなく、生き延びています。この言葉について真剣に悩んだ青春時代が懐かしく思えると同時に



人は生きてきたように 死んで行く

司祭 ダニエル 山野上 素充

は必ず土に帰る、時間的制約の中で生きることが決まっていることが語られています。ですから与えられた時間をどう生きるかが問題になるのです。

私は、最近になって、命とは丸いかたまりではなく、時間の概念でとらえられる長い帯のようなものだと思うようになりました。もつと生きてほしかったと家族

新たな悩みが発生しました。「永遠の命を受け継ぐために何をすればよいでしょうか」と訪ねてきた青年に対して、イエスは「持っている物を売り払い、貧しい人に施しなさい」と言われました。その人が自分の時間と金をどのように使おうとしているかによって、何を大切に生きていくかがわかるのです。時間と金の使い方

方は、自分の命をどのように使おうとしているのか外から見える姿であり、神を証することになったり人を躓かせることになったりするものです。

人の命を根本で握っているのは、自分ではなく神であります。ある人の人生は長くされ、ある人の人生は短くされているのは、「私たちがおごることのないように、謙虚に、お預かりした人生を大切に生きるように」との神から人間に対する語りかけ・メッセージなのです。私たちはこのことを信じて信仰生活をしてきました。歳を取ってしまつてこれからは大きな働きができないかもしれないと思う必要はありません。歳をとつた、病気になった、もう元の元気には戻れない、これから先は希望がなくなつたと思う必要はありません。私たちは「死に方によって神の栄光を表すことができる」のです。これが究極の希望ではないでしょうか。

に、ずいぶん直線的に物事を考えていたのだと思いません。

天地創造の物語で、人間が神の形に似せて土で創られたと記されていることに深い意味があります。「神の似姿」とは、神の意志と一致したもの、尊厳を持ち、自由意思が与えられているわけですが、その材質は土であると言うことで、人間

自分のために使うはずだった時間を、友のために使う、これが友のために自分の命を捨てることではないか、と考え出して悩みは小さくなりました。しかし、

や友人が願うのは、たとえ80歳、90歳まで生きてとしても、30歳であったとしても同じことで、人生の長さで人を評価することはできません。

どう生きるか、どう死ぬか、与えられた時間をどう使うか、生き方によって神を証する、そして最期には、死に方によって神を証する、すべて同じことを言っているのです。生き方も死に方も共に命の使い方、使命の果たし方です。謙虚に、精一杯生きましよう。

(やまのうえ もとみつ・囁
託司祭、守口復活教会定住
勤務・守口ぶどうのいえ施設長)

大阪教区主教選挙

磯 晴久司祭が当選

1 回 の 投 票 で

就任を受諾、「主教被選者」に

教区からの選出は39年ぶり

去る9月15日(月/休日)

午前9時から、大阪教区主教座聖堂(川口基督教会)礼拝堂において、大阪教区第112(臨時)教区会を開催、聖餐式の後と次期(第8代)主教選挙が行われ、アンデレ磯 晴久司祭(59歳)が1回で当選した。推薦された候補者は、シモン・ペテロ上田憲明司祭(米国聖公会ハワイ教区、聖路加国際病院チャプレン、前大阪教区大阪聖アンデレ教会副牧師)、アンデレ磯 晴久司祭(石橋聖

トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会管理牧師)の2人。

第1回の投票で、磯 晴久司祭は聖職議員10票(出席聖職議員15人)、信徒代議員26票(出席信徒代議員37人)の計36票を得、当選に必要な得票数(3分の2)を満たした。上田憲明司祭は聖職議員票5票、信徒代議員票9票を獲得した。なお、信徒代議員の白票は2票であった。

この確認書は、首座主教(ナタニエル植松 誠主教)に届けられ、首座主教から各教区主教に対し、当選者についての過半数の同意を得て本人が受諾。9月30日付で日本聖公会首座主教より、司祭アンデレ磯 晴久が大阪教区主教に就任することを受諾したので、「主教被選者」となった旨通知が

開票の発表後、当選確認書に、議長(サムエル大西 修主

天候に恵まれた大阪教区礼拝

550人がプール学院清心館に 9人が堅信の按手を

式典長 司祭 パウロ 井上 進次

去る9月28日(日)、恒例の大阪教区礼拝が、プールの大阪教区礼拝が、プールの

院・清心館にて行われました。今年のテーマは「主にあつ

て、わたしたちは一つ」。教(次頁につづく)

《アンデレ 磯 晴久司祭のプロフィール》

(主教選挙時の紹介より)



1955年3月4日(59歳)、1973年4月受洗、1973年12月堅信。1977年3月関西学院大学経済学部卒業後、民間企業勤務を経て、聖職候補生志願。1978年4月聖公会神学院入学、1981年3月聖公会神学院卒業。1981年4月伝道師認可、大阪聖愛教会勤務。1982年3月執事按手、1983~1995年恵我之荘聖マタイ教会で勤務(12

年間)。その間に1983年7月司祭按手。1995~2001年東豊中聖ミカエル教会牧師・保育園園長(6年間)。2001~10年桃山学院大学チャプレン(9年間)。2010年石橋聖トマス教会牧師、高槻聖マリヤ教会管理牧師、庄内キリスト教会管理牧師に就任。2012年東豊中聖ミカエル教会管理牧師に就任。現職。教区においては、常置委員、大阪教区宣教協議会実行委員長(2012年)、宣教部員、宣教部生涯学習委員会委員長、聖職養成委員会委員長、東光学園理事・評議員を歴任。管区においては、正義と平和委員会沖縄担当 沖縄の旅団長、第2回聖公会平和協議会実行委員、宣教主事(2014年7月~)を務める。

あった。当教区成立は、1923年6月5日、初代教区主教には第1回教区会で名出保太郎主教を選出。第2代・柳原貞次郎主教は日本聖公会総会で選出。以降、第3代・小池俊男主教、第4代・木川田一郎主教は教区会で選出。続く、第5代・高野晃一主教、第6代・宇野 徹主教、第7代・大西 修主教は連続して総会で選出されている。教区会で教区主教を選出したのは、1975年の木川田主教以来、何と39年ぶりであった。各教会で唱えた「主教選挙のための祈り」は実現した。主教被選者の磯 晴久司祭を覚え、主による一致に豊かな導きを祈ります。(編集部)



大西主教とともに「主にあって、わたしたちはひとつ」

(前頁よりつづく)
区22の教会が、まさに一つとなつて礼拝をささげる喜びを味わおうと考えました。当日は天候にも恵まれ、約550人の方が出席しました。
今年、聖餐式の中で堅信式

も行われ、7教会9人の皆さん(別掲)が堅信の按手を受けたことは、格別の喜びでした。そのことを誰よりも喜んでおられたのは、大西主教ではなかったでしょうか。年に一度の教区礼拝の意義

は、教区全体の信徒が一堂に会し、信仰の友から互いに元氣とパワーをもらつて、また氣持ち新たに宣教の業へと進んでいくことだと思ひます。その意味では、今回のように多くの方の堅信受按に私たちが参列できたことは、大阪教区の新しい歴史の一頁に立ち会えたように思ひます。

また、当日の午後のプログラム「ぶうる寄席」が、清心館で行われました。露のききようさん、桂勢朝さん、笑福亭仁嬌さんの噺家さんの落語には200人近い方が来られ、会場からは笑いがおこり、楽しいひと時となりました。

食堂前のテラスでは「キツズひろば」が開かれて、ガチャポンやクリスマスカードづくり、ぬり絵などを、子供たちが楽しんでいました。

今回の献金は、礼拝の信施は「いっしょに歩こう・パートII」と「だいに東北」に、午後の寄席の献金は「広島土砂災害被災者のため」に献げられました。

さて、プール学院チャペロンとしては、教区礼拝を新しい人も参加しやすい礼拝にし

公 示

日本聖公会大阪教区第113(定期)教区会を、
下記のように招集します。

救主降生2014年9月18日
日本聖公会大阪教区
教区会議長 主教 サムエル 大西 修

記

会 期 2014年11月24日(月/休)
午前9時(開会聖餐式)から午後5時まで

議 場 日本聖公会大阪教区主教座聖堂・会館
(川口基督教会)
大阪市西区川口1丁目3番8号

なお、上記教区会のため、書記および会計に下記の者を指名します。

書 記 司祭 ジョージ 林 正樹
ペテロ 内海良輔
会 計 司祭 ヨシュア 原田光雄
テレジア 水畑裕美

たいと考えました。具体的に、聖書朗読をプール学院、桃山学院の生徒にしてもらい、奉獻や準備をGるーぶ(教区青年の集い)にお願いしまし

た。若い世代の様々な礼拝奉仕を通して、より一層教区礼拝の活性化を期待しています。(いのうえ しんじ・プール学院中高チャプレン)

受 接 者

芦屋聖マルコ教会
キアラ 細谷 萌香
西宮聖ペテロ教会
ペテロ 当舎 葵
尼崎聖ステパノ教会
メグミ 中北 照美
中北 史郎

東豊中聖ミカエル教会
福音記者ヨハネ小野 哲
川口基督教会
ルシア 井阪美智子
サラ 辻中 春栄
守口復活教会
ヨハネ 糟谷 茂
恵我之荘聖マタイ教会
クリステイナ大野 有紀

京都教区・大阪教区聖職養成委員会共催

「教会奉仕者および聖職への道セミナー」報告

聖職養成委員長 司祭 アンデレ 磯 晴久

2014年8月4日(月)～6日(水)、カトリック御受難修道会宝塚黙想の家を会場に、自分

として社会福祉法人新生会チヤブレン鈴木育三執事と、若者に聞く、講師岩本翔太さん

(参加者の声から)

ヨハネ 丹羽 正樹

参加者は、京都教区から5人、大阪教区から6人(部分参加1人)であった。特に、神学生や聖職候補生ではない一般参加者が多かったことは、今後に期待を持たせるセミナーとなった。講師は、特別講師

毎年恒例の夏のセミナーに今年初めて参加させて頂きました。3日間のプログラムを通して、信仰生活について深く考える機会を与えられました。



このセミナーに参加するにあたり、積極的な他の参加者との交わりを持つことに努めようと思いました。その理由は、人見知りなところのある私が牧会の場においてより実りのある活動をするために必要だと考えたからです。1日目の分かち合いでは、この自らの思いを踏まえた自己紹介をいたしました。その後、人との接し方について何人か

(京都聖マリア教会、救急救命士、東日本大震災で奉仕活動、U26の立ち上げに

も貢献)であった。この二人の講師を通して、私たちは深い気づきへと導かれた。

の方からアドバイスをいただくこともあり、良い分かち合



金山神学生を囲む会

司祭 クリストファー 奥村 貴充

いであつたと思います。

鈴木育三執事と岩本翔太さんの講話を通じて印象に残ったのは、人の命と正面から向き合う姿でした。そして、私たちが神様によって生かされているということへの感謝の気持ちを確認する機会となりました。

黙想の時間では、自身の生き方と教会生活について振り返り、現在の私がこの場にい

か」ということを一つのテーマとしながら4月から準備を始めてきました。その取り組みとして、金山神学生にまつわる勝ち抜きの一問一答形式のクイズ(通称「金山クイズ」)をしました。このクイズは長所や短所、出身などを二択で答えていくというものでした。とりわけ良かったと思ったのは、今回のポスターのプロフィール写真についての問いです。それは「ウイリアムス神学館の応援団長か、またはキッズフェスティバルの天使役か」というもので、天使役が答えだったので、子どもたちのために仕

るということこそが、神様の導きによるものだと思ひ、感謝を捧げお祈りしました。今回のセミナーでの体験を今後の生活、そして教会生活における働きに生かせたらと思っています。参加を支援して下さいました皆様と、多くのお恵みを与えて下さった神様に感謝いたします。

(にわ まさき・大阪聖パウロ教会信徒)

8月24日(日)の午後、今年も「神学生を囲むつどい」が川口基督教会を会場に開かれ、全員で85人が参加しました。今回は「どのような内容にすれば教区の皆さまに金山神学生のことを知っていただける

か」ということを一つのテーマとしながら4月から準備を始めてきました。その取り組みとして、金山神学生にまつわる勝ち抜きの一問一答形式のクイズ(通称「金山クイズ」)をしました。このクイズは長所や短所、出身などを二択で答えていくというものでした。とりわけ良かった

思ったのは、今回のポスターのプロフィール写真についての問いです。それは「ウイリアムス神学館の応援団長か、またはキッズフェスティバルの天使役か」というもので、天使役が答えだったので、子どもたちのために仕

(次頁最下段につづく)

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ― ④

社会福祉法人 東光学園

児童養護施設 東光学園



おもてなしの心

施設長 ダニエル 大久保 正彦

「お・も・て・な・し」ち
ようど1年前にオリンピック
招致活動で世間を賑わせた言
葉、この精神が立派に根付い
ていると実感する出来事があ
りました。
聖ルカ教会では、昨年に引
き続き大阪教区と京都教区に
よる「一日人事交流」の一環

スで独特のイントネーション
でした。子ども達からは「初
めてやから緊張してるんかな
あ」との吹きも聞こえました
が、自然と北山司祭のペース
に合わせていきます。最後の
聖歌はみんな大好きな「イエ
スさまがいちばん」です。フ
ォークギターを抱えて歌いだ
した北山司祭の姿に、驚きと
喜びの合唱で、最後は誰か
らともなく拍手が沸き起こり
ました。帰り際に1人の男の
子から「次はいつ来てくれる
の？」と尋ねられて感激した
と話しておられました。
児童養護施設の現状は、向



こう15年の間に「里親委託の
推進・本体施設の小規模化・
地域への分散化」などの所謂、
家庭的養護の推進が求められ
ています。東光学園において

(前頁よりつづく)
に神学生がいる時に催されま
す。これからも引き続き開催
できるよう、聖職に召される
人が増し加わるよう祈ってい
きたいものです。
(おくむら たかみつ・大阪
教区神学生後援会常任理事)



主教選挙を終えて

った主な
る神に感
謝すると

2008
年5月の日
本聖公会総
会の中で、大阪教区主教選
挙が行われ、主教に選出さ
れ、9月に主教按手式・主
教就任式を受けてから、あ
つという間の6年間でした。
浅学菲才なわたしを支え導
き、共に歩んでくださ

ともに、事あるごとに主にあ
る一致を体感させてくださつ
た教役者・信徒の皆様に関心
からお礼を申し上げたいと思
います。
去る9月15日、後任主教を
選出する臨時教区会が主教座
聖堂(川口基督教会)で開かれ、
1回目の投票で当選者(磯晴
久司祭)が与えられました。

その時、言い尽くせぬ感謝と
喜びが胸の内に充満したこと
を今も忘れることができませ
ん。
今春、各教会の主日礼拝の
代祷で9月に行われる主教選
挙のために、心を一つにして
「主教選挙のための祈り」を
ささげてくださるようお願い
しました。わたしを含め過去
3人の主教が総会で選出され
ており、後任主教は何として
も教区会で選出したいという

願いは、わたしだけではなく、
みんなのうちにあったのでは
ないかと思えます。教区の一
致の象徴、聖公会の信仰・伝
承の擁護者としての主教を教
区会で選出し得たことは、み
んなの思いが主にあつて一つ
にされたことの証しです。
今、わたしたち、そして教
会・教区・管区は大きな曲が
り角に立たされています、そ
の曲がり角の先は見えないけ
れど、信仰の目でそれを見る
時、そこには大きな希望が
待っていることに気付かさ
れます。いつの時代もそう
です。信仰の先達が歩ん
できた道は、想像もできない
ような道であったでしょう
が、その道は今へとつなが
っています。その道・主に
従っていく道を次の世代に
引き継いでいく責務をわた
したちが負っていることを
再認識したいと思います。
(主教サムエル 大西 修)



大阪・京都教区合同 小学生キャンプを開催

琵琶湖・北小松研修所で

5月のリーダー研修会から約2カ月半の間、ミーティングを重ね、プログラムの企画から準備まで小学生キャンプのために万全の用意を整え、当日の8月4日を迎えました。主教にキャンプの安全をお祈りしていただき、保護者の方々に見送ってもらって、42人の参加者とともに出発することができました。3日間を通して天気は悪かったのですが、プログラムに支障をき



たすことなく、水泳も無事にできました。天気があまり良くなかったにも関わらず、子どもたちは元気で、遠くから来ている人もいたのに、子どもたちはすぐ仲良くなっており、その柔軟さに驚かされました。初日の晩にはみんなの個性のなうちわができ、最終日にはみんなで互いのうちわにメッセージを書きあい、世界で一つのうちわが完成しました。2日目にはみんなで大きな魚を分け合うこともできました。今回大きな事故もなく楽しくキャンプを終えることができたのは、たくさんの人のおかげであることを忘れずに、来年も小学生キャンプを作りたいと思っています。

(松尾 郁・奈良基督教会)

みんなであつしよいて、
楽しんで本当によかった!!
今年で最後になってしまい、
小学生キャンプとおわかれで

す。ありがとうございます。
また会う日まで!! この楽しかった時間をわすれな
いでほしいと思います。来年も楽しんでキャンプに参加して、また新しい仲間作りを築いてほしいと思います。みなさんありがとうございます!!
きたこまつ 最高!!
(五十嵐 想・京都復活教会 6年)



びわこは、さいこうでした。ぼくは、びわこで、おにごっこをしたり、なみなながされて遊びました。海とびわこちがうところは、水がしょっぱいのと、しょっぱくないのです。一番楽しかったことは、

をいっばいしたいです。
(福井 浩介・福井聖三一教会 3年)

楽しかったことは、びわこでおよいだり、うちわをつくらしたりしたこと。わたしは、水泳が一番楽しかったです。二番目は、ご飯の材料を切ったりしたこと。わたしは、ズッキーニを切りました。三番目は、グループなどでやったゲームです。おどったり、じゃんけんをしたりしました。キャンプでは、家ではやらないこともできたのでよかったです。

(藤尾 結・高槻聖マリヤ教会 5年)



J's キャンプ

クリストファー 小西 宏平

今年の8月11日から15日に、三重県サン大淀キャンプ場で行われた夏の中高生世代のJ's キャンプは「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」(創世記2・18)を主題聖句にして「濃い今」仲間と共有する時間というテーマで開かれました。このテーマを考えると

きスタッフ達が中高生世代の話をしていて、今の中高生は日々忙しく、ゆつたりと時間を過ごすことが少なくなっているのではないかと話し合われました。
今年、そんなキャンパー達が日々の忙しさを忘れ自然の中で仲間達とゆつくりと充実した時間を過ごしてほしく、また日々の時間を忘れてキャ

(次頁4段目につづく)

特別寄稿

原発問題についてのQ&A ⑧

日本聖公会・原発と放射能に関する特別問題プロジェクト

⑧ 医療用放射線と

原発被ばくとはどう違うか

放射線は医療の分野でも使われていますが、それは原子力発電から出てくる放射線による被ばくとはどのように違うのでしょうか。放射線は放射性元素の崩壊に伴い放出される粒子線あるいは電磁波のことで一般に電離放射線を指し、物質中の原子や分子を電離します。基本的に人間だけでなく、生物全般に原子レベルの影響を与えることとなり、遺伝子を傷つけます。しかし医療用放射線の場合、放射線治療から起こるデメリットよりもメリットを優先させる考えから医療として使われてきました。レントゲンなどで使うX線は波長の短い電磁波で、身体の内部を透視する目的で使われています。また、主にガン治療の目的で放射線の持つ悪影響をがん細胞に集中的に与えることでがん細胞を死

滅させる治療をしています。放射線は人体に影響がありますが、医療用の場合継続性は無く、放射線量も微量です。また、治療を受ける者の意思が尊重されます。

線量被ばくのみならず、原発から大量に生み出される放射性廃棄物は何百万年という単位で影響を与え続けます。では、どのくらい放射線を浴びるとどんなことになるのでしょうか。これには諸説ありますが、一般的には、まず急性障害は短期間に100ミリシーベルト以上受けた時に短期的に出てくる症状だと言われています。本来、身体は自己回復能力がありますが、短期間で100ミリシーベルト以上受けると、自己回復能力を超えてしまうといわれ、250ミリシーベルトになると白血球の一時的減少が見られると言われています。短期間に受けた放射線量が100ミリシーベルト以下の場合では長期的な影響(例えば発ガンなど)が問題になります。その場合は年間に受ける放射線量がどのくらいかによって影響の出方が違ってきますが基本的には少ないほど影響が少ないと言われる

一方原発は、核分裂の連鎖反応から得られる熱エネルギーを電気に変換させています。わずかに1gのウラン235の核分裂で石油2000リットル分のエネルギーを発生させます。原発は一度稼働させると、放射線を発生させる使用済燃料が出来、また運転を停止しても燃料棒は熱を出し続けます。原発は日常的に温排水、排気等からごく微量の放射線を放出し続けており、事故を起こした東京電力福島第一原発の場合は大量の放射性物質を放出し放射線の影響が恒常的となっています。

医療用放射線と違って、原発から出される放射線は持続的、継続的であり、無差別に影響を与えます。日常的な低

(前頁よりつづく)

ンプの中で「今」という時間を仲間たちと「濃く」4泊5日を過ごしてほしいと思いいこのテーマを考えました。

キャンプで過ごしている中で毎年参加している仲間も新しく今年から参加した仲間もみんな仲良くなって、毎年キャンパー達がキャンプの中で歌っている「怪物のバラード」の3番を自分達で作ろうとみんなで歌詞を作りました。そ

の歌詞の中には初めての参加で緊張している仲間とも楽しく過ごせたい気持ちや、これからも仲間であられる喜びなども表現されているように思えました。

これからもJ'sキャンプがさらに人数が増え、お互い深め合つてずっと仲良くできる仲間ができるキャンプになるように願います。

(こにし こうへい・高槻聖マリア教会信徒)

ています。厚生省が決められている「公衆の1年間の許容放射線量」は1mSvです。胸のエックス線集団検診が0.05ミリシーベルト、胸部CT検査が6mSvです。これは一時的な線量です。また通常時の放射線作業員従事者1年の線量限度が50ミリシーベルトです。また、病院や大学の研究所などで一般人の立ち入りが禁止されている「放射線管理区域」は5ミリシーベルト以上の被ばくの危険がある場所、とされています。チェルノブイリ原発事故では年間5ミリシーベルト以上の被ばくの危険が

ある所は「強制移住区域」に指定されました。日本では避難区域の目安とされた年間被ばく量は20ミリシーベルトです。原発から出される放射線による被ばくは、持続的継続的影響を無差別に受けるという点で、医療用放射線とは区別されるべきでしょう。持続的継続的低線量被ばくについては症例や実験データが無く正確にはその影響は分からないということになっています。 監修・河田昌東(NPO法人チェルノブイリ救援・中部理事)



広島平和礼拝に参加して

歴史をつないだ69年

聖職候補生 フランチェスコ 成岡 宏晃

8月5日・6日と、神戸教区広島復活教会、平和記念公園、カトリック世界平和記念礼拝堂を会場にして開かれた広島平和礼拝に参加させていただきました。

「ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ」というテーマをかかげ、「今」私たちが平和のために出来る事を、ともに祈りながら分かち合う2日間でした。

8月6日は「広島が被爆した日」ではなく、「約100,000人の『生』がこの世界から消えた日」でした。歴史

上・新聞紙面上の出来事として情報を得るだけでなく、その地に赴いて、その地に生きる人々の思いと共に生きる。イエス・キリストの福音宣教の本質がここにあると、再認識いたしました。

フィールドワーク・講演・

聖餐式・平和行進、すべてのプログラムで最も大切にされていたことは、「分かち合う」ということであつたように感じました。

戦争の悲惨さを、平和の尊さと平和を築き上げるためのたゆまぬ忍耐と祈りの力を、そして何よりも私たちが共に生きることの喜びを大いに分かち合うことができた2日間でした。

中東で展開されている悲惨

うべきなのでしょう。

「平和とは、気がついたらなっているものではなく、創り出していくものである」――犠牲者を追悼する礼拝の中で、中村豊・神戸教区主教が語られていた言葉です。私たちが平和を祈り、どんなに小さくても、具体的な行動を起こすことで、平和を生み出すことにつながるのだと確信しました。

た。

1945年当時の広島市の男子平均寿命は25歳そこそこであつたと聞きました。その平均寿命を80代まで引き上げて来られた一人ひとりの祈りと忍耐を、今を生きる私たちが信仰をもって神の助けによって守り続けていきたいと強く願います。

大切な機会を与えられたことに、心から感謝します。(なるおか ひろあき・東豊)

中聖ミカエル教会勤務)

去る9月4日に大阪聖パウロ教会で第5回目の委員会が開催されました。11月の両教会では委員会の中間報告が予定されていま



す。今委員会では各作業部会の中間報告内容の確認・検討がなされま

した。前回の「OK委員会はいま??」で報告がありましたように、当委員会では両教会の対等な合併(吸収合併ではなく新たな合併教会の宗教法人の立ち上げ)を念頭に活動しています。現在文化庁の担当の方に連絡を取り指示を仰いでいます。また教務所・教区事務所

OK委員会はいま??

大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会報告

司祭 ヨハネ 古澤 秀利

前回の報告のように、合併直後は特に膨大な事務作業等が予測されるため、両教区に事務所を設けることが適当と考えられます。その際、各教区で受け持つ事務作業等の具体的な内容については、今後検討を進めてまいります。

当委員会の任期は2015年度までであり、2015年教区会で最終報告を行うことになっております。2014年教区会での中間報告後から最終報告に向けても、当委員会で話し合われていることができる限り周知されるよう工夫していくことを確認いたしました。次回の委員会は10月9日に大阪聖パウロ教会で開催されます。

(ふるさわ ひでとし・大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会広報担当・高槻聖マリヤ教会牧師)



このマークの記事は『大阪教区報』と『つのぶえ』(京都教区報)の共通記事です。

「差別」「人権」の学びを重ねながら

大阪教区社会宣教委員長 司祭 ペテロ 竹林 徑一

「大宗連」(同和問題にと

りくむ大阪宗教者連絡会議)の議長教団の事務局担当者として、事務処理だけでなく、差別・人権問題という大テーマに主体的に取り組むための基礎学習の大事さと面白さを、最近強く感じています。

【学習・その1】

全国組織である「同宗連」が毎年関東・関西・九州で開催している「部落解放基礎講座」の第29回(7月29、30日・京都西本願寺伝道本部)に参加しました。120人のこれから仏教宣教の現場に出ようとする若い働き人たちが、大半つるつるの頭を並べて講義に聴き入る姿は、圧巻であり刺激的でした。

御所市・西光寺住職(元中学教師)の清原隆宣師は、「宗教と部落差別問題」水平社運動がめざしたもので、自分が生まれ育った地で経験し学んだことをベースに語られま

した。

北口末広氏(部落解放同盟大阪府連の執行委員長で、近畿大学教授)の「被差別部落の歴史に学ぶ」は、単なる歴史叙述学習ではなく、時代の最先端の法律専門家として鋭い切り口を、分かりやすく説明されました。人権の時代をひらく「人権システム創造」

のために、全国水平社宣言の思想と運動から多くの豊かな学びができること、それを今後のニューメディア時代に生きる人々が活用できるという青写真を、説得力十分に示してくれました。

北口氏は、9月29日に「リバイおおさか」での「部落解放・人権大学講座40周年記念行事」でも講演され、「これからの部落解放運動に求められる人権人材」で語られた内容は、閉塞状況の打破を目指す教会・教団にも大きなヒントを与えるものでした。

【学習・その2】

8月20、22日、和歌山県高野山で毎夏開催されている「第45回部落解放・人権夏期講座」に参加しました。全国から参集した約1300人が、6つの全体講演と15の課題・ジャンル別の講演・講話から、自分で選択して聴講する熱気に感じ入りました。

港区波除のHRC(ヒューマンライツセンター)内にある「一般社団法人・部落解放・人権研究所」が全体を束ねていますが、差別に限らず現代社会で生じている人権問題、人間の生き方をリアルに感じ、学べる場・機会だと実感しました。情報が豊かで新鮮、お勧めです。

以上二つの研修会以外にも種々出てみて思うのは、自治体や社会福祉関係者に劣らず、企業関係者や女性の参加者の多さと熱心さです。本気だと思つると同時に、時代・環境が人権問題・生きる困難を敏

感にキャッチしているからだと思つます。教会との接点や学ぶことは実に多いのです。食わず嫌いでなく、ぜひ、ま

世界の窓

◎大韓聖公会司祭、400キロ行脚でフェリー事故犠牲者を追悼

3人の大韓聖公会司祭が、フェリー事故の犠牲者を憶えるため事故現場の近く、韓全羅南道珍島郡からソウルまでの約400キロを行進している。この事故は、4月16日にセウオル号が転覆し300人以上の犠牲者を出し、その犠牲者の多くが高校生であったという痛ましい惨事である。また、フェリーの違法改造や避難誘導と救助活動の不手際など多くの人為的過失の重なりが事故の原因と指摘されおり、韓国で大きな社会問題となった。大韓聖公会のスポークスマンであるステファン・ヨウ司祭は、この行脚はフェリー事故犠牲者のためだけでなく、愛する人々を失った遺族や家族への祈りも込められていると語っている。3人は9月29日に出

ず味見をしてみてください。(たけばやし けいいち・大阪聖ヨハネ教会牧師)

発し、10月18日にソウルに着する予定。

(Anglican Communion News Service: September 29th, 2014)

◎洗礼を望むバグダッドのキリスト教徒

現在イラクで交戦している過激派イスラムグループ「イスラム国」の脅威を受けながらも、バグダッドのキリスト教徒は、受洗を希望している。その地において10年以上の活動を続けているアンドリュウ・ホワイト聖公会司祭は、その明白な理由のひとつを「イスラム国」に立ち向かいたいという思いだと語る。また、彼は信仰を受洗によって実証したいという思いは立派だが、自分がキリスト教徒であることを公言することはあまりにも危険すぎると警鐘をならしている。「イスラム国」はキリスト教徒の家に「ナザ

(次頁3段目につづく)

公 示

救主降生2014年8月20日
日本聖公会大阪教区主教
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

- 司祭 ジョイ 千松清美 9月1日をもって、西宮聖ペテロ教会副牧師の任を解き、同教会牧師に任命する。
- 司祭 施洗者ヨハネ 山本 眞 9月1日をもって西宮聖ペテロ教会管理牧師の任を解く。
- 司祭 ヨハネ 古澤秀利 9月1日をもって、高槻聖マリヤ教会副牧師の任を解き、同教会牧師に任命する。
- 司祭 ヤコブ 義平雅夫 9月1日をもって、大阪聖アンデレ教会副牧師の任を解き、同教会牧師に任命する。
- 主教 サムエル 大西 修 9月1日をもって高槻聖マリヤ教会管理牧師、および大阪聖アンデレ教会管理牧師の任を解く。

英国ツアー中止のお知らせ

（前頁よりつづく）
「イスラム国」の占拠もいつ起ころかわからないが、ホワイト司祭はそこで宣教活動を続ける決意をしている。何千人ものクルド難民が北部に逃れ着いているため、そこでできる限りの救援活動をするためだという。

「プール学院135周年記念 英国ツアー」は、最終申込みが最少催行人員に達しませんでしたので、中止といたしました。お申し込みされた方には大変ご迷惑をおかけします。すでに申込みを完了されている方や、お問い合わせくださっている方には、旅行取扱管理者である（株）ウェンズの代表松代洋子さん（短大11期卒）が改めて個人的な旅行プランを準備してご案内くださることになっております。

企画者 岩城 聡
岩坂 正雄
鈴木 光子

教 区 の 動 き

常置委員会報告

9月12日(第11回定例)

- I. 主教報告
- 及び諸報告

- II. 協議事項
- * 京都教区との協働について
- * 2015年度大阪教区一般会計予算案について
- * 第112（臨時）教区会主教主選挙（9月15日について）
- * 丹羽正樹兄（大阪聖パウロ教会信徒）を聖職候補生志

（Anglican Communion News Service: October 3rd, 2014）
司祭 ヤコブ 松平 功（まつだいら いさお） 桃山学院大学チャプレン

願者として認めることに同意した。



祝受洗

○ 芦屋聖マルコ教会
キアラ 細谷 萌香 (9月21日)

○ 川口基督教会
ルシア 井阪美智子 (9月21日)



祝受按

○ 大阪聖アンデレ教会
ジュヌヴィエーヴ 橋本 明美 (6月29日)

参加者募集

大西主教と行く 「新しい聖地旅行」

聖書にちなんだ遺跡と 主にある兄弟姉妹を訪ねて

旅行期間 2015年2月24日(火)～3月6日(金)

訪問先 エルサレム、ナザレ、ガリラヤ、
ベツレヘム、ヘブロン

旅費 概算 35万円
(交通費、宿泊費、全行程の食費、ガイド費など)

募集人数 20人

団長 主教 サムエル 大西 修

事務局長 司祭 ペテロ 岩城 聡

申込締切 2014年12月31日(水)

申込先 大阪教区事務所 FAX: 06-6621-3097

問合せ先 司祭 岩城 聡

○芦屋聖マルコ教会
キアラ 細谷 穂香 (9月28日)

○川口基督教会
ルシア サラ (9月28日)

井阪美智子
辻中 春栄

○西宮聖ペテロ教会
ペテロ 当舎 葵 (9月28日)

○守口復活教会
ヨハネ 糟谷 茂 (9月28日)

○尼崎聖ステパノ教会
メグミ 中北 照美 (9月28日)

○恵我之荘聖マタイ教会
クリステイナ 大野 有紀 (9月28日)

○東豊中聖ミカエル教会
福音記者ヨハネ 小野 哲 (9月28日)

○高槻聖マリヤ教会
クリストファー 小西 宏平 (10月5日)

魂の平安を 祈ります

○大阪聖三一教会
スザンナ 奥井 淑子 (8月12日・97歳)

マリヤ 泉田 恵美 (8月22日・81歳)

マリヤ 熊岡 純子 (9月22日・61歳)

○聖ルシヤ教会
サムエル 渡辺 憲司 (8月22日・65歳)

○芦屋聖マルコ教会
ステラ 吉田 直子 (8月25日・54歳)

○東豊中聖ミカエル教会
オネシモ 末森 正光 (8月28日・75歳)

○川口基督教会
サラ 稲田 峰 (8月30日・97歳)

ベタニヤのマリヤ 伊佐岡与志子 (9月14日・96歳)

教会・施設の動き

東豊中聖ミカエル教会

○去る、9月7日(日)に豊中市の3教会(石橋聖トマス・庄内キリスト・東豊中聖ミカエル)が、合同の聖餐式を、当教会にて、お捧げしました。124人の方が出席され、当日の信施は、聖トマス教会建て替えのためにお献げしました。礼拝後は昼食の時間を共に過ごし、他教会の信徒との交わりを実践し、各教会の近況を分かち合いました。今後も、豊中3教会の交わりを深めていくことを念頭に置きながら、喜びのうち

に一日を過ごしましたことを感謝いたします。

川口基督教会

○9月21日(日)に、教会創立記念・長寿祝賀会感謝礼拝および祝会を行いました。75歳以上のご高齢者は107人おられ、長寿を喜び合いました。

○大阪市が選定する「生きた建築ミュージアム」に、川口基督教会が選定されました。

○今年の「川口バザー&オルガンコンサート」は11月2日(日)に決まりました。この日は「生きた建築ミュージアム」のオープンハウスイベントもあり、賑やかな一日になりそうです。

高槻聖マリヤ教会

○10月5日(日) 牧師任命式及び創立記念日・長寿感謝礼拝と祝会を行いました。

○10月26日(日)子ども祝福式、ゴスペルコンサート(チャペルコンサート)を行います。

聖贖主教会

○二ノムの会・バンサイライン支援2014年秋のチャリティコンサート/11月15日

教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 11月12日 (水) 10:30 ~

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 フランチェスコ 成岡宏晃聖職候補生

- 1日 司 祭 ジェームズ・ウイリアムス (1920 英)
- 3日 司 祭 パウロ 山本 早太 (1988)
- 4日 司 祭 ヨハネ 張本 栄 (チャン・ボンヨン 1966)
- 宣教師 コンスタンス・メアリー・リチャードソン (1968 英)
- 5日 司 祭 パウロ 後藤 光敏 (1971)
- 9日 司 祭 ヨハネ 有近 康男 (1991)
- 11日 司 祭 ヨハネ 伴 君保 (1956)
- 12日 宣教師 ドーラ・レイチェル・ハワード (1947 英)
- 17日 宣教師 ガートルード・E・コックス (1906 英)
- 19日 司 祭 ヨハネ 側垣 正巳 (1997)
- 20日 司 祭 ホレイス・ジョージ・ワレン (1950 英)
- 21日 主 教 ホレイス・H・プライス (1941 英)
- 22日 司 祭 ベルナルド 小穴 藤雄 (1971)
- 23日 司 祭 北川 千代吉 (1939)
- 30日 宣教師 アミー・キャロライン・ボサンケット (1950 英)
- ?日 宣教師 アンナ・マリア・タプソン (1940 英)

◇ 12月10日 (水) 10:30 ~

於：主教座聖堂 (川口基督教会)

説教者 ペテロ 齊藤 壹司祭

- 1日 宣教師 エディス・イライザ・ソープ (1930 英)
- 2日 主 教 チャニング・モア・ウイリアムス (1910 米)
- 4日 司 祭 テモテ 山本 登 (2009)
- 13日 司 祭 ジョン・キャリー・アンブラー (1946 米)
- 16日 司 祭 尾形 虎三 (1945)
- 17日 司 祭 アーサー・ラザフォード・モリス (1912 米)
- 宣教師 エミリー・ビショップ・ボウルトン (1926 英)
- 18日 宣教師 ジェーン・キャスパリ (1888 英)
- 22日 伝道師 清田 海一郎 (1904)
- 司 祭 近重 利澄 (1934)
- 27日 司 祭 ヘンリー・レナード・ブレビー (1942 英)
- 28日 伝道師 大塚 惟明 (1928)
- 29日 司 祭 マルコ 伊墻 八束 (1978)
- 30日 宣教師 オードリー・M・ヘンティー (1970 英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

お詫びと訂正

教区報第 438 号に掲載の教区関係逝去者記念聖餐式に脱落がありました。訂正してお詫びします。

10月5日 司 祭 サムエル 福田 光宏

(土) 午後1時30分開始(於2階聖堂)、テーブルバザーは午前11時30分より(於1階集会室)、主催・キリスト教女性センター、後援・聖贖主教会

聖ルシヤ教会

○聖ルシヤ教会創立41周年チャペルコンサート〜クリスマス

聖ヨハネ学園

○11月23日(日) よはね丘のまつり

桃山学院大学

○12月6日(土) 午後2時、クリスマス・コンサートとし

RJCアカデミー。

下田部保育園

○10月2日(水) 体育遊び(運動会)を行いました。

ての第120回目のチャペル・コンサートを開催します。丸谷晶子氏(古楽ソプラノ歌手)、金谷幸三氏(ギターリスト)、久保田真矢氏(オルガニスト)、東光学園ハンドベル・クワイアをお招きします。また、本学チャペル附属聖歌隊も出演いたします。無料ですが250人の定員になり次第、入場できなくなりすことを予めご了承ください。

○12月11日(木) 午後5時から、クリスマス・キャンドル・サービスを行います。また、チャペルでの礼拝の後、引き続き場所を移動してキャンドル・ナイトを予定しています。キャンドルの炎が灯される中で、心温まるクリスマスの一時をお過ごしください。入場無料。

プール学院中・高等学校

○12月17日(水) 午前10時50分からフェスティバルホール

編集後記

でクリスマス礼拝を行います。実りの秋を迎えました。教区報第439号をお届けできますことを皆様に感謝します。大阪教区新主教選出も果たし、教区成立91周年記念礼拝(聖餐式・堅信式)も天候に恵まれ無事終了しました。もうすぐ新しい教会暦年を迎えます。(広報委員会一同)